

補助金・交付金 チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館市バス生活路線維持費補助金	開 始 年 度	平成13年度
団 体 名	函館バス株式会社	団体等 の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 課税事業者 <input type="checkbox"/> 免税事業者
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱 (国) ・北海道地域間幹線系統確保維持事業費補助金交付要綱 (道) ・北海道生活交通路線維持対策事業費補助金交付要綱 (道) ・函館市補助金等交付規則 ・函館市バス生活路線維持費補助金交付要綱 		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	存続が危機に瀕している生活交通のネットワークについて、地域特性や実情に応じた最適な交通手段を確保・維持するための国の補助制度のほか、国の補助事業の対象外となるバス生活路線について北海道・函館市でも補助を行い、適切な役割分担により、バス路線の維持・確保が図られている。
目 的	(目的) バス交通は、市民にとって日常生活における大切な移動手段であるが、民間バス事業者のみでは運行が難しい不採算路線に対し、国や道、他市町と適切な役割分担を図りながら補助することで、地域として必要なバス路線を維持・確保していくこと。
・ 効果	(効果) 地域として必要なバス路線等の維持・確保が図られている。 (国庫補助路線3路線、道補助路線5路線、市単独補助路線9路線)

○補助事業の収支状況 ※上段:補助事業等に要する経費 [下段]:補助対象経費 (単位:千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	自主財源		計
		市	その他				
収 入	H29	28,955	18,126	153,426	13,816		214,323 □
	H30	25,516	18,062	134,131	14,639		192,348 □
	R元	20,572	16,837	112,089	13,335		162,833 □
	R2	13,701	21,820	81,780	27,166		144,467 □
	R3	14,251	15,219	67,765	14,028		111,263 □
支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等		計
	H29			214,323 [47,081]			214,323 [47,081]
	H30			192,348 [43,578]			192,348 [43,578]
	R元			162,833 [37,409]			162,833 [37,409]
	R2			144,467 [35,521]			144,467 [35,521]
	R3			111,263 [29,470]			111,263 [29,470]

補助金・交付金 チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館市バス生活路線維持費補助金
----------------	-----------------

○基本的視点の再チェック

基 本 的 視 点		適	不適	説 明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	バス路線は通勤・通学・通院などに幅広く利用され、市民生活を支える都市の基盤であり、バス路線を維持することは市民生活の向上につながるものであることから、公益性は非常に高い。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市民の足である生活路線の確保は、行政としての責務であり、今後も国や道、他市町と適切な役割分担により補助を継続する必要がある。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	利用状況を踏まえ、必要に応じて減便や廃止を行うなど、運行の効率化に努めている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	本制度は国や道の補助制度に準じているものであり、負担金や委託など他の手法はなじまないものである。

○財政的視点のチェック

財 政 的 視 点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input type="checkbox"/>	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

補助金・交付金 チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館市バス生活路線維持費補助金
----------------	-----------------

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

- 令和3年度 14,251千円
 - 地域間幹線系統 3路線 5,407千円
 - 広域生活交通路線 3路線 3,690千円
 - 函館市生活交通路線 5路線 5,154千円

(達成状況)

- 市民生活を支える生活交通路線の維持・確保が図られた。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	補助の実施により対象路線の運行が維持されており、市民生活の維持に必要な効果をあげているといえる。

○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) 公共交通を将来にわたって持続可能なものとするためには、運行の効率化や利便性向上による利用促進などの対策を講じつつ、市民生活に必要な不可欠な路線を維持できるよう努める必要があり、令和4年度から函館市生活交通路線の補助対象を改め、より多くの市内完結路線を広く支えられるように改正したことから、その効果を見極めつつ、補助のあり方について検討していく。 (見直しの時期) 令和6年度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	
(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
令和 6 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	令和 6 年度